

## 「道内の感染状況等について（道案）」に対する主な意見

## 1 有識者・専門家等の意見

## 1-①

道案に対し異論なし。  
シルバーウィークを控えて人の動きが活発になることが予想される。  
学校等のクラスターも心配である。もう少し我慢が必要。

## 1-②

私立を含め学校の感染が続いており、対策が杜撰な事例は公表すべきではないか。もしくは、厳しい対応をすべきではないか。  
ワクチン接種については、しっかり取り組んでいただきたい。

## 1-③

新規感染者数が減少傾向であるので少し安心している。  
だが、クラスターが依然発生しているなど緊急事態宣言の延長は避けられないと考える。ワクチン接種率が早く全国平均に追いつくよう働きかけをお願いします。

## 1-④

新規感染者数や療養者数に減少傾向が見られる中、増加傾向にある重症者について、世代別やワクチン接種の有無等に関する情報を併せて提供することにより、感染予防に対する意識の醸成を図ることも検討すべきと考える。

## 1-⑤

本案に関しては、異議はなし。  
感染者の数が減少し、大学内の病床使用数も落ち着いてきている。  
しかし、20から30代の感染者が、4割以上との報告を見るとまだまだ注意が必要。

## 1-⑥

感染者数は減少傾向にあるが依然高い水準にあり、11月を目途としたワクチンの2回接種が終了に向けて重要な局面にある。一般接種の年代の感染者数が多い為、集団接種会場においてもより一層の感染対策に注力が必要である。ワクチン接種が円滑に進むよう引き続き感染対策の周知をお願いしたい。

## 1-⑦

道案に関して異論なし。  
感染者数の減少傾向は明らかだが、決して楽観視できるレベルではなく、少なくとも、今年6月下旬の水準まで低減するよう対策を継続していく必要があると考える。現在、発出されている緊急事態宣言は、まだ解除できる段階ではないと思う。

## 2 市町村・関係団体の意見

### 2－①

新規感染者数が減少傾向にあることは、ワクチン接種の進捗が大きく関係していると思われるので、引き続き接種が進まない市町村に道が積極的に関与して接種の促進を図る必要があると考える。

### 2－②

北海道においては、まだ緊急事態宣言を解除する状況にはないと考える。